

令和元年度 鑑石園高齢者地域支援窓口 事業報告書

1. 事業運営の概況

富士市からの委託を受け、原田・青葉台の両地区(富士市吉原中部地域包括支援センター・富士市北部地域包括支援センター)のブランチとしての機能を担ってきた。総合相談機能の一部を地域に展開し、高齢者及び高齢者を抱える家族が、住みなれた地域で安全安心に生活が続けられるよう、各機関と連携しながら、事業を適正に運営した。

2. 事業計画実施状況

(1) 職員資質の向上のために

① 法人理念・職員信条について

法人理念や職員信条を、毎朝礼時に全員で唱和し遵守する事で、高い意識と自覚のもと業務に努めた。

② 研修への参加

積極的に研修に参加し、自己研鑽に努めた。また、地域のサロン・悠容クラブ訪問や、出前講座等で研修の成果を地域の高齢者に還元し、在宅生活継続の一助に繋げた。

令和元年度に参加した主な外部研修は次の通り。

月	内 容	主 催
R1.9 月	・地域包括支援センター等職員研修	・静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会
R1.10 月	・神戸・青葉台地区民生委員とケアマネジャーの連携会議	・富士市北部・吉原中部地域包括支援センター及び神戸・青葉台地区 民児協
R1.11 月	・富士市介護予防・日常生活支援総合事業サービス事業者研修会	・富士市高齢者支援課
R2.2 月	・富士市高齢者総合相談業務担当者研修会 ・富士市吉原中部地域包括支援センター圏域内、他職種連携会議	・富士市高齢者支援課 ・富士市吉原中部地域包括支援センター

(2) 地域に根ざした相談窓口となるために

① 地域との連携

民生委員・まちづくり協議会・福祉推進会・悠容クラブ・サロン・地域住民の体操教室等との連携を密にし、地域の行事にも参加した。

② 移動相談窓口の開設

昨年度に引き続き、原田農協で年金入金月(偶数月)の計6回移動相談窓口を開設し、地域へ相談所の周知をした。その他、原田まちづくりセンターと滝川福祉センターで毎月1回、青葉台まちづくりセンターで月2回相談窓口を開設した(青葉台の移動相談は、青葉台まちづくりセンター建物工事のため、4月～9月の期間、休止した)。

③ 固定相談窓口の体制確立

24時間365日対応の相談窓口を設置し、居宅介護支援事業所や特別養護老人ホームと連携し、常に相談機関としての機能が果たせるような体制をとることができた。

④ 生きがいデイサービス、健康づくりデイサービス

担当の包括支援センターと連携しながら、利用者の利用の調整や利用者や家族との生活の相談・介護保険への移行等に対応し、利用が安心して在宅生活の継続が出来るよう支援した。

(3) 地域ネットワークの構築

① 広報紙の発行

広報紙(てるて news)を継続発行し、訪問先へ持参し情報提供をした。また原田地区全世帯に「てるて news」「水のかがみ」を回覧した。

② 原田地区及び青葉台地区の民児協への出席

毎月の地区民児協定例会へ参加し、情報交換することにより、民生児童委員との信頼関係を築けた。また、地域に鑑石園事業を周知するために、窓口担当者の他、施設の他の部署の責任者も交替で参加した。

③ 地域のネットワーク作りのための会議への協力

地域包括ケアという考えのもと、地域が上手く連携をとれるよう両地区の包括支援センター主催の地域ケア会議へ企画委員として参加した。

④ 原田地区及び青葉台地区の福祉推進会への出席

原田地区及び青葉台地区の福祉推進会の会議や福祉推進
会主催の行事に出席して情報交換を行い、地域のニーズを把握
し、会員との見守りネットワークを築くことができた。昨年に引き続
き両地区のサロンへ定期訪問を行い、より深い関係作りができた。

⑤ 原田地区及び青葉台地区の悠容クラブ定例会への参加

毎月の定例会に可能な限り参加し、情報提供を行った。毎年
度参加依頼のある原田地区健康教室(6月)と青葉台地区悠容ク
ラブ演芸大会(9月)に参加し、会員の方々との親交を深めた。

⑥ 出前講座の開催

悠容クラブや地区の福祉推進会・ふれあいサロン等に出向き、
介護予防、生きがい作りを中心とした講座を開催することで、地域
の高齢者の健康を助長すると共に各種団体との連携を築いた。令
和元年度は、鑑石園在宅介護支援センター及び原田地区まちづ
くり協議会と協力して、介護者教室(てるての知恵袋)を年1回開
催した。

令和元年11月『認知症サポーター養成講座』

⑦ 秋葉講への参加

2ヶ月に1度開催される秋葉講への参加を継続し、地域と親睦を
深めた。

⑧ 地域の防災担当者との連携

地域(北滝川町、東滝川町)の防災担当者と、防災訓練につい
ての情報交換を行い、連携を図った。また他の職員と分担して、北
滝川町、東滝川町の防災訓練に参加した。

(4) 富士市役所や他地区の受託窓口との連携・協力

鑑石園高齢者地域支援窓口が呼びかけ人となり、令和元年11
月に窓口情報交換会を行ない窓口間の連携を強めた(富士市内
の高齢者地域支援窓口5ヶ所参加)。毎年3月に富士市高齢者支
援課主催で開催する窓口会議は、新型コロナウイルス感染症の影
響で中止となった。

(5) 担当包括支援センターとの連携

- ① 吉原中部地域包括支援センター及び北部地域包括支援センターの
2地区主催の地域包括ケア会議への出席や、認知症サポーター講座

などにスタッフとして積極的に協力した。

- ② 吉原中部地域包括支援センター及び北部地域包括支援センターへ毎月の実績報告や相談をかねて電話連絡や訪問をし、連携をとった。